

理科だより

発行

平成21年8月10日

編集 RIKADAI SUKIMAN

レンギョ(連魚)

理科の自由研究で雑草の植物標本を作ろうということになり、近所の真間川を散策していたところ、釣りをしている人がいました。見ると、大きい魚がかかって、苦戦している様子。見物人が増えてきて、誰かが網を差し出し、ようやく捕獲しました。



全長70cm位ある「レンギョ」という魚でした。鯉みたいだなと思ったら、中国原産のコイ科の魚でした。近くであんなにでかいのが泳いでいるとは驚きました。

植物標本

童心に帰って、子供と一緒に植物標本作りをしてみました。基本は今も昔も変わりません。何をやるにも基本が大切と思い、もう一度標本作りを一から復習してみました。しかし、大人になってから調べると、意外と手ごろな文献が見つかりません。あっそうそう、あの本に出ていたっけと思い出しました。案の定、自分が小学生のころ本

屋でもらった自由研究の本に出ていました。

(当時非売品のおまけの本) せっくなので、手順を載せておきます。

●必要な道具

- 1 園芸用のはさみ
- 2 植物を入れる袋
- 3 記録メモ

(追加すると、デジカメ)

●採取する時の注意

- 1 植物の全体の姿を知るため、花とか実のついたものを大きく採る。
- 2 必要以上に採取しない。
- 3 採ってはいけないものがあるので注意。

● 新聞紙にはさむ
植物の汚れを落とし、新聞紙にはさんで、重しをする。一週間目は、新聞紙を毎日取り替える。

● 乾燥した植物を台紙に貼り、整理する。
注意：植物を直接のりで貼らない。また、セロテープは後ではがれてしまうので、用いない。

●その他

ラベルは自作しました。台紙の画用紙は100円ショップで手に入れました。パーティ用の紙テープを用意して、準備完了。後は植物を採取して、整理するのみ。虫がすごいので、虫除けスプレーは持参すると良いでしょう。生産者と一次消費者。

植物標本	
種名	
採取地	花野山
採取量	
日	

植物標本	
種名	
採取地	花野山
採取量	
日	

植物標本	
種名	
採取地	花野山
採取量	
日	

やはり理科の原点は採取と整理、分類、観察です。次は岩石採取と標本作りです。

百日紅(さるすべり)

夏になると、さるすべりの花が咲きます。



次から次へと花を咲かせ、100日くらい花が咲くとか、中国で恋人に100日後に会う約束をしていたが、直前になって死んでしまい、その翌日に咲いたので百日紅と言うとか、いろいろですが、とにかく夏になると目立つ花です。これは、千葉県の臼井という所で撮りました。近くに「雷電の碑」というでかい石

の碑があります。



おそらくスレート(粘板岩)という石だと思います。臼井とか成田とか、史跡の多い所では、変成岩などが積極的に用いられています。花崗岩は意外と火に弱いし、風化作用を受けやすい。



上は、文豪「永井荷風」が住んでいた「小西邸」ですが、玄関は「凝灰岩」です。凝灰岩は火山灰が凝結してできた岩石で、こちらは花崗岩と違い耐火性があるため、門とか塀などに利用されることが多いと思います。